

「手当て」で心も体も癒します
きずなの手・江戸川

設立：2014年10月
 会員数：17名



活動地区：江戸川区東部地区／船堀地区

活動日：第2月曜日

活動場所：特別養護老人ホーム 瑞江ホーム など

会員条件：入門講座修了者

会費：年1,000円

入会方法：連絡責任者へ連絡

きずなの手・江戸川では、特別養護老人ホームを始めとした各種施設やイベントなどで「セラピューティック・ケア」の活動を行っています。

セラピューティック・ケアとは、イギリスの病院での化粧療法が起源。その後、英国赤十字社がハンドケアを取り入れたことでボランティアのスキルとして確立しました。日本で「痛い痛い飛んでいけ！」と手を当ててもらい（手当て）と痛みが和らぐように、触れることによって、緊張した心身をほぐし、安らぎを提供します。リラクゼーション効果のほか、ストレス軽減・循環機能の改善・認知症の軽減など多くの効果があるとされています。

同会では高齢者だけでなく、触れることを通して親と子の愛情を育み、絆を深めることも目的とするインファントセラピーも行っています。

活動をするためには、日本セラピューティック・ケア協会が実施する入門講座の受講により資格を取得する必要がありますが、もともとボランティアのためのスキルであり専門知識がなくても講座で資格の取得が可能です。一緒に活動する会員が増えることで、訪問する施設をさらに増やしていくことを目標としています。

活動の様子 (タワーホール船堀でのイベントの様子)



セラピューティック・ケアの基本は触れる事での安らぎを提供します。



もみほぐすマッサージとは違い、軽く手を当て擦っていくので力も入りません。



会場に訪れていた北野学長もご満悦の様子。



手を使って丁寧にほぐしていきます。



連絡先：渋谷 正一【電話】03-5675-3761